

(株)山共・山共フォレスト

東白川村・製造業(木材加工)・林業

従業員数/男性12名 女性3名 計15名 ※令和5年11月現在

エクセレント
POINT

- ①子育て・介護に優しい柔軟な勤務形態の導入
- ②年次有給休暇を取りやすい雰囲気づくり
- ③地域貢献活動に積極的に参加

製造業

仕事とプライベートの両立を支援

山共・山共フォレストでは、プライベートの充実が仕事も精一杯取り組めるとの考えで、仕事とプライベートの両立を全面的に支援している。2018年から「試し出勤規定」を設け、出産、育児、介護などで一定期間休職した従業員の復職を支援。育児休業を取得した従業員が同制度を利用し、子連れ出

勤をしている。休業中の従業員には、月に1回携帯で仕事の進捗状況や社内の情報を連絡。会社とのつながりを保つことで円滑な復職につながり、妊娠、出産、育児を理由とした退職者ゼロを維持している。

また、複数担当制による業務共有化により、他の従業員による業務代行が可能な業務管理体制を確立。年次有給休暇が取りやすくなり、取得率は18年の52%から64.5%に上昇した。



障がい者サッカーの日本代表として世界大会に出場した熊崎将大さん。会社が仕事とプライベートの両立を全面的に支援している。

地域貢献活動にも精力的で従業員4人が消防団に入団し、消防団協力事業所として地域との連携体制を強化。有事の際は出勤扱いとして、消防団活動に従事できる体制を整える。県内の農林高校生を対象とした林業と製材業を一体的に体験できる視察会では、参加者へのレクチャーやワークのサポートを行った。



県内高校生を対象とした「体験型視察会」。選木や製材の木取り、販売価格の検討など、様々なプログラムを体験できる場となっている。

さらに、障がいのある従業員の継続就労にも努めている。障がい者サッカーの日本代表として「第5回FIDサッカー世界選手権」に出場した経歴をもつ製材部の熊崎将大さんは「仕事を休んでサッカーの大会に出場する時も快く送り出してくれる」と話し、現在もサッカーを続けられる職場環境に感謝している。